



槻の若木

〒339-0054 岩槻区仲町1-14-35

電話：048-756-0254

FAX：048-758-7483

HP：<http://iwatsuki-j.saitama-city.ed.jp>Mail：iwatsuki-j@saitama-city.ed.jp

「未見の我」

校長 松井育夫

入学式・始業式に満開だった桜もすっかり葉桜となり、毎朝校門に立って登校する生徒に「おはようございます」と声をかけていますが、元気な声が返ってきてさわやかな気持ちとなります。しかし昨年度、生徒は「あいさつがよくできる」と自己評価していますが、保護者からの学校評価の中には、あいさつがあまりできていないとのご指摘をうけていますので、継続していろいろな場で呼びかけていきたいと思えます。

さて、4月15日(土)の土曜公開・保護者会に多数の保護者の方の御参観をいただきありがとうございます。お子様の表情、クラスや学年・学校の様子を見ていただくことが何よりと考えております。なお保護者会の校長挨拶の中で、3点についてお話させていただきました。(1) **教育課程の変更**。年間授業数をさいたま市として15時間増加させます。本校は各学年数学を増やし、「若木タイム」として取り組みます。具体的には、定期テスト前の放課後に小テストを実施、土曜授業で一斉テストを実施、土曜日の数学の時間の設定等です。(2) **部活動の休養日の設定**。さいたま市教育委員会から①毎週1日以上休養日を設定する。



②設定した休養日については、月ごとに1日以上週休日(土・日)を含む。③お盆や年末年始は休養日とするというものです。本校の実態としては、指定された休養日は取れていると考えています。また、大会やコンクールで設定どおりでない場合は、他の週や月で確保します。(3) **土曜チャレンジスクールの紹介**。本校では「岩中竹東チャレンジスクール」と呼んでいますが、今年度も年間19回の開催を予定しています。学習アドバイザーはベテランの教員経験のある方から、教育実習を行った学生さんまで、地域の方々が担当してくれます。なかなか普段学校の授業で質問しにくい人でも、個々に指導してくれますので質問しやすいメリットがあると同時に、自学自習を原則としていますので、学習の仕方を学ぶにはよい機会と思えます。4月19日現在で、30名の定員に対して、まだ11名の希望者という現状ですので、ぜひ参加をご検討ください。希望される方は、担任までご連絡をお願いします。



ところで、新年度を迎えるに当たり、新しい自分を見つめるために「未見の我」というお話を紹介します。まず、私たちが「これまで自分が知らなかった自分を知ること」これを「学び」と考えます。「学び」を続けると、これまで気が付かなかった新しい自分を知ることがたくさんあります。まだ見たことがなかった新しい自分ことを「未見の我」と言います。実はこの言葉は、幕末に松下村塾を開いたことで有名な吉田松陰の言葉です。松陰は「未だ見たことのなかった自分を目指しなさい。心は熱く、一生に一度くらい本気でやってみなさい。必ず達成します。運命を造りなさい。」と話をしたそうです。学校での「学び」の中心は授業ですが、毎日をなんとなく過ごしては「未見の我」に気付くことはありません。「未見の我」に気付くためには、自分自身を深く見つめ直し、何かに本気で取り組むことが大切です。本気で取り組んだ時こそ、内に眠っている才能が発揮され「未見の我」に出会うこととなります。今年度の岩中生一人ひとりが大きく成長できることを期待しています。